

問7 日本遺産の認知度を向上するためにどのような取り組みが必要だと思いますか。

まず日本遺産とはどういう価値があるのか知りたい。

駅から、バスあるいはタクシーで日本遺産体験コースと銘打って回るような仕組み作りで、認知度を上げる。

SNSによるより一層の配信

麒麟獅子舞を駅、商店街等でもっとアピールできる展示をして観光客に知らしめると良いかと思う。

小中学校での教育にもっと力を入れる。学校で教えてもらったら必然的に知ることになるから。ホームページやポスターに載せても見ようと思わないと見ないから。意味はあるとは思いますが、より確実に伝えるなら学校がいいと思う。

TVCMなどマスメディアを使って、積極的にPRすることを地道に継続する。

SNS等を使って 学生さんなどに 発信してもらおう。鳥取大学の学生さんに 知ってもらおうツアーを こんで 参加してもらおうのは どうでしょうか？

どのような、日本遺産があるのか案内をしてくれるサイト。パンフレットの配布を通して、日本遺産を知るキャンペーンをしたら効果があると思います。

CM等での定期的な宣伝や情報発信。多くの人が集まるイベント場所での披露。

親しみやすいコンテンツやきっかけがあるといい

日本遺産に関連した体験イベントの定期的開催。日本遺産について学ぶための学校での出前授業。

新聞、チラシ、やはりテレビ放映などされると広まるのははやいですね。

日本遺産だと知って欲しいだけなら、そこら中に書いておけばいい。

YouTubeなどで世界にアピール

教養講座等の開催。

学校の参観日等、親にも子に周知

- ・ 広報活動の活性化  
(イベント等でのデモンストレーション、テレビ・ラジオ・インターネット等での周知)
- ・ 関与する人材の拡大 (講座、講演会、体験会の開講)

前年度はインスタグラムでフォトコンテストが開催されていたので楽しく参加しました。全世界に発信する事で他県の方にも興味を持ってもらえるきっかけになると感じています。

写真を見て実際に見てみたいなど感じる人も一定数いらっしゃると思うのでまたSNSを活用してキャンペーンをするのは誘致にも認知度を向上するにも力を発揮してくれると考えます。

テレビやネットでの広報活動に加えて、体験型のイベントを多く設ける。

テレビ等での紹介、若者世代にはInstagram、TikTok等のSNSの利用。

鳥取で暮らすようになり、麒麟獅子を知りました。関東の方にパンフレットをお送りしたら「関西で暮らしていたけど知らなかった」と。同じ山陰でも知らない方いらっしゃるのでは？

麒麟獅子のポストカードが売られてないのです。各地の友人知人にお送りしたいのですが。

写真の麒麟獅子のポストカードの販売を希望します。売られていたら旅行土産で買って帰る方、こちらから書いて送る方いらっしゃるのでは。

県立博物館に、麒麟獅子の屏風があり、その一筆箋等販売されてました。「ポストカードの販売希望」は昨年？一昨年??メールでおおくりしました。知ってもらうために販売を希望します。

毎日、毎週 の放送（TV他）

三朝、三徳さんでさえ暫定認定（仮）となっている。ここほど本物は無いのに。評価方法がおかしい（変）と思う、ほっとけとは思わないが、こねくり回して無理してストーリーを作り自分で自分を苦しめているように感じる。

麒麟獅子舞は神社の例大祭の時でいいのに担ぎ出して色々な場所で舞うのは続かない。

舞うならばしっかりとお礼を出すこと。例えば、島根県石見地方の神楽は有料で舞っているところが多い。子供たちに認知されている。踊りをもっと現代的にする。振りを変える（無理）

週に1回は市役所内で舞う（？）認定をがんばらない。

2, 3年前の大河（明智光秀）を活用しなかった。麒麟がくる。何か遠慮してしまった。

同じことが「しゃんしゃん祭り」にも言える。パンダの「シャンシャン」を利用していれば。

麒麟獅子フェスティバルの開催。地味な日本遺産・伝統芸能の方が長続きするかも。派手に扱いすぎ。

日本遺産自体が、「～のストーリー」という形なので、世界遺産のような具体的なイメージがつかみにくい。イメージをつかみやすくする取り組みが必要だと思います。

マツコデラックスさんみたいな知名度も好感度も高い有名人に、CMに出て頂き、一気に認知度を高める。木村拓哉さんの岐阜の織田信長は一躍全国区になったように。

鳥取を代表するようなものは思い浮かびますが、それが日本遺産なのかどうかの認知は低いかと思えます。獅子舞体験はこどもがしたことがあります。貴重な体験をありがとうございました。

小さな子供を持つ親は、獅子舞を見せたいと思ってイベント等に行く機会があるので、そこでアピールするのは良いきっかけになると思えます。

SNSやYou Tube、TikTokなどの活用。若い世代から知られていくのが一番広まりやすいと思う。

1. あらゆる情報コンテンツを利用した他府県に対するPRや観光資源としての旅行会社へのPRを積極的に行う。

2. まちづくり活動の中において地元日本遺産をテーマにしたものを盛り込んだり、地元日本遺産を活動(小旅行・ウォーキング等)の場所にして住民の関心を喚起する。

3. 学校教育の教科書掲載の充実。学生によるガイド実施やツアー企画立案。

もっともっと看板などで知って頂くことが重要と考えます。

兵庫県側との連携をもっとしたほうがいいと思えます

まずは地元にもっと働きかける必要がある。銀行、病院、市役所の待合所など、人が集まりやすい場所で広報動画を流すなどしてはどうだろうか。

また次世代を担う子どもへの教育が大事。

学校の課外活動に、意識的に取り入れてもらうことはできないか？！

駅などの目に入りやすいところで周知する

自治体活動や広告はすでになりにかなり取り組みされていると思うので、圏域の関係人口の協力をお願いするのもよいのでは？草の根的ですが、例えば、どこかに旅行したいという話題がでたときに、そういえばこんなものがあるよとアピールしてもらう、あるいはアピールできるよう広報体制を工夫するなど。

YouTubeはもちろん、インスタ、テックトックなどのショート動画も気軽に見えるので、短時間での歴史動画なども発信してけば若い方にも知っていただけるきっかけになるかと思えます。

印象に残る、もっと知りたいと思える情報を発信すること。
学校に出張してPRしたり、子供たちが学んだり体験する機会を増やす。
ふれあいや体験など、現地で出来ることを増やし、現地で日本遺産であることを伝えて欲しい。
家族旅行の行先決定のきっかけを作る1つとして、日本遺産という制度を小学生の頃から教える。
日本遺産を巡るツアーが有ると良いと思います。
まず、そもそもが、鳥取市の市役所職員、また市役所内で勤務しておられる方が、日本遺産含め、日本遺産でなくとも、鳥取の文化財をどれほど知っておられるのか、前からずーーーーっ と疑問である。
メディアで周知すること。SNSを活用する。
・ストーリーとそれらを構成する文化財のさらなる情報発信。イベント、祭りの創造とその情報、PR発信。情報発信により全国知名度の向上を図る。
イベントを数多く開催。ユーチューブを利用して舞をまったり、講座をひらいたり、